

運用報告書（全体版）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年9月30日から2026年8月10日まで	
運用方針	<p>①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②アジア通貨で為替取引を行います。</p>	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブの直接利用は行いません。株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	有価証券の空売りは行いません。純資産総額の10%を超える借入れを行いません。投資信託証券への投資は行いません。
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）	
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース

第149期（決算日 2024年3月11日）
 第150期（決算日 2024年4月10日）
 第151期（決算日 2024年5月10日）
 第152期（決算日 2024年6月10日）
 第153期（決算日 2024年7月10日）
 第154期（決算日 2024年8月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース」は、このたび第154期の決算を行いましたので、第149期～第154期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL  <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432
 （受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比	債券率	投資信託 組入比	純資産額
		税分	込配	み金 期騰落 中率				
	円		円	%	%	%	百万円	
125期(2022年3月10日)	3,739		40	△ 9.6	—	95.5	4,432	
126期(2022年4月11日)	4,118		40	11.2	—	96.3	4,852	
127期(2022年5月10日)	4,086		40	0.2	—	96.8	4,774	
128期(2022年6月10日)	4,114		40	1.7	—	97.0	4,789	
129期(2022年7月11日)	3,763		40	△ 7.6	—	95.6	4,344	
130期(2022年8月10日)	3,651		40	△ 1.9	—	96.5	4,159	
131期(2022年9月12日)	3,883		40	7.5	—	97.9	4,359	
132期(2022年10月11日)	3,601		40	△ 6.2	—	95.9	4,014	
133期(2022年11月10日)	3,423		40	△ 3.8	—	96.4	3,778	
134期(2022年12月12日)	3,567		40	5.4	—	96.4	3,931	
135期(2023年1月10日)	3,602		40	2.1	—	96.5	3,956	
136期(2023年2月10日)	3,611		40	1.4	—	96.5	3,953	
137期(2023年3月10日)	3,583		40	0.3	—	96.3	3,914	
138期(2023年4月10日)	3,443		40	△ 2.8	—	96.3	3,745	
139期(2023年5月10日)	3,464		40	1.8	—	96.8	3,738	
140期(2023年6月12日)	3,510		40	2.5	—	96.9	3,771	
141期(2023年7月10日)	3,435		40	△ 1.0	—	95.8	3,639	
142期(2023年8月10日)	3,375		40	△ 0.6	—	95.9	3,551	
143期(2023年9月11日)	3,353		40	0.5	—	96.1	3,507	
144期(2023年10月10日)	3,284		40	△ 0.9	—	95.5	3,438	
145期(2023年11月10日)	3,339		40	2.9	—	95.7	3,482	
146期(2023年12月11日)	3,281		40	△ 0.5	—	95.6	3,355	
147期(2024年1月10日)	3,302		40	1.9	—	96.3	3,343	
148期(2024年2月13日)	3,383		40	3.7	—	96.9	3,392	
149期(2024年3月11日)	3,351		40	0.2	—	95.9	3,330	
150期(2024年4月10日)	3,407		40	2.9	0.4	96.0	3,872	
151期(2024年5月10日)	3,438		40	2.1	0.5	96.1	3,890	
152期(2024年6月10日)	3,454		40	1.6	0.5	96.6	3,875	
153期(2024年7月10日)	3,559		40	4.2	0.5	96.9	3,714	
154期(2024年8月13日)	3,245		40	△ 7.7	0.6	96.3	3,103	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス4)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	率
			騰 落 率	率				
第149期	(期 首)	円		%		%		%
	2024年 2月13日	3,383		—		—		96.9
	2月末	3,434		1.5		—		97.6
第150期	(期 末)							
	2024年 3月11日	3,391		0.2		—		95.9
	(期 首)							
第150期	2024年 3月11日	3,351		—		—		95.9
	3月末	3,418		2.0		0.2		96.6
	(期 末)							
第151期	2024年 4月10日	3,447		2.9		0.4		96.0
	(期 首)							
	2024年 4月10日	3,407		—		0.4		96.0
第151期	4月末	3,458		1.5		0.5		96.3
	(期 末)							
	2024年 5月10日	3,478		2.1		0.5		96.1
第152期	(期 首)							
	2024年 5月10日	3,438		—		0.5		96.1
	5月末	3,479		1.2		0.5		96.6
第152期	(期 末)							
	2024年 6月10日	3,494		1.6		0.5		96.6
	(期 首)							
第153期	2024年 6月10日	3,454		—		0.5		96.6
	6月末	3,542		2.5		0.5		97.0
	(期 末)							
第154期	2024年 7月10日	3,599		4.2		0.5		96.9
	(期 首)							
	2024年 7月10日	3,559		—		0.5		96.9
第154期	7月末	3,396		△4.6		0.6		95.9
	(期 末)							
	2024年 8月13日	3,285		△7.7		0.6		96.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

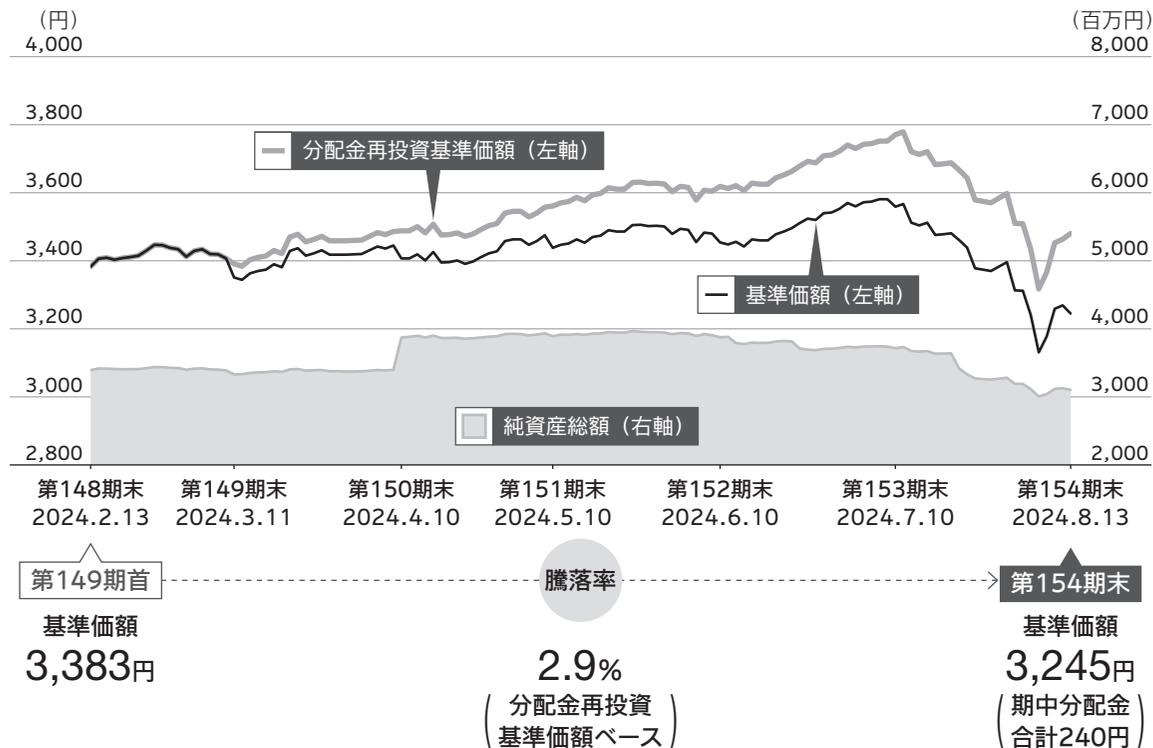
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年2月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」は、いずれも債券部分がプラスに寄与したことから、為替部分のマイナス寄与を補い、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。



ベビーファンド



マザーファンド



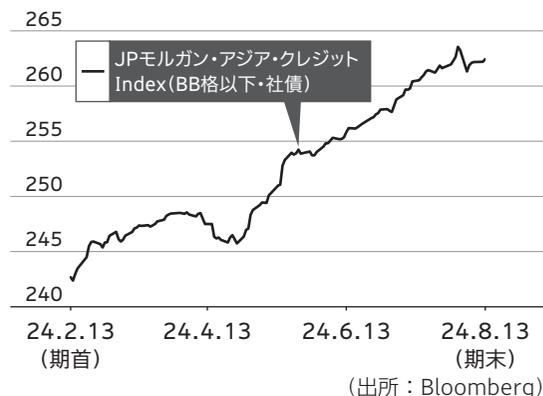
マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

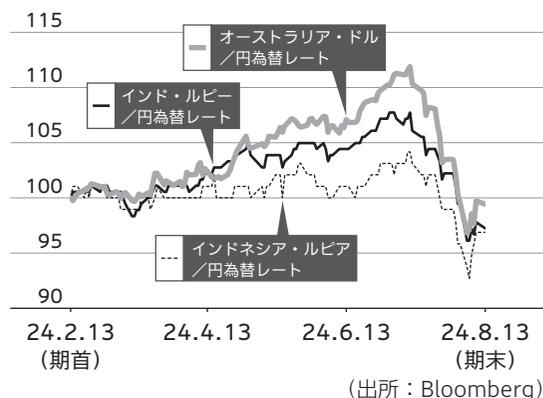
当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。前半は、市場におけるFRB（米連邦準備理事会）による早期の米国利下げへの期待の一方で、強い経済指標やFRB高官による利下げ先送り発言から米国金利は上昇傾向となりました。後半には、物価指標が落ち着きはじめたことで、2024年内の利下げを織り込む展開となり、米国金利は低下しました。また、アジア・ハイ・イールド債券への堅調な需要を背景に、クレジットスプレッドは縮小しました。当期前半における中国における経済対策が、同株式市場の反転や信用リスクの緩和に寄与し、アジア・ハイ・イールド債券市場を支えました。上記の金利低下とスプレッド縮小から、債券価格は上昇となりました。

ドル円相場は、2024年3月から7月にかけて、日銀の金融政策正常化観測が醸成される一方、米国の利下げ先送り観測が台頭する中、円安ドル高が進行しました。7月中旬以降、日銀の利上げ観測を織り込む流れとなり、8月上旬にかけて急速に円高が進行しました。アジア通貨についても、オーストラリアドル、インドネシアルピア、インドルピーとも7月中旬まで上昇しましたが、7月中旬以降の円高の中でいずれも下落しました。

市況の推移



為替レートの推移



注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピーが、対円で下落したことから、為替部分はマイナス寄与となりました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピーが、対円で下落したことから、為替部分はマイナス寄与となりました。

マネープールマザーファンド

2024年3月までは短期金融市場において国債の利回りがマイナスであったため、比較的マイナス幅が小さいコール・ローン運用を中心に行いました。4月以降は、コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
	2024.2.14 2024.3.11	2024.3.12 2024.4.10	2024.4.11 2024.5.10	2024.5.11 2024.6.10	2024.6.11 2024.7.10	2024.7.11 2024.8.13
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	1.180%	1.160%	1.150%	1.145%	1.111%	1.218%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,007	7,021	7,033	7,046	7,061	7,074

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

中国における経済政策スタンスは漸進的な緩和姿勢を維持するものと期待され、また、中国を除くアジア全体のマクロ経済と企業のファンダメンタルズは、底堅く推移すると予想しています。米国金利は、パウエルFRB議長が、インフレ率の低下が続けば2024年9月にも利下げを行う用意があると示唆する一方、11月の米大統領選の影響など年後半にかけて一定の慎重さがが必要です。しかしながら、相対的に魅力的な利回りを求める投資家需要が下支え要因になるものと考えられ、市場の動向を踏まえながらポートフォリオ運営を継続する方針です。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

今後2024年の年末までに期待されている米国利下げに関心が高まる中、米大統領選の結果そのものよりも、2025年にかけてさらなる利下げを正当化できるほど米国経済が軟化しているかどうかの見極めに注意を払っています。株式市場の調整局面があったものの、全体としては堅調であり、経済データの弱さも短期的なものならば、債券市場を慎重にみていく必要も生じます。グローバル市場のボラティリティが高まる一方で、アジアのクレジット市場における需要は堅調であり、こうした中、相対的に妙味のある銘柄に入れ替えを行うなど、安定したポートフォリオ運営を行う方針です。

マネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第149期～第154期 2024.2.14～2024.8.13		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	17円	0.503%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は3,454円です。
（投信会社）	（ 7）	（0.208）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（10）	（0.279）	購入後の情報提供、運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.016）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.007	(b)その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（監査費用）	（ 0）	（0.007）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	17	0.510	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

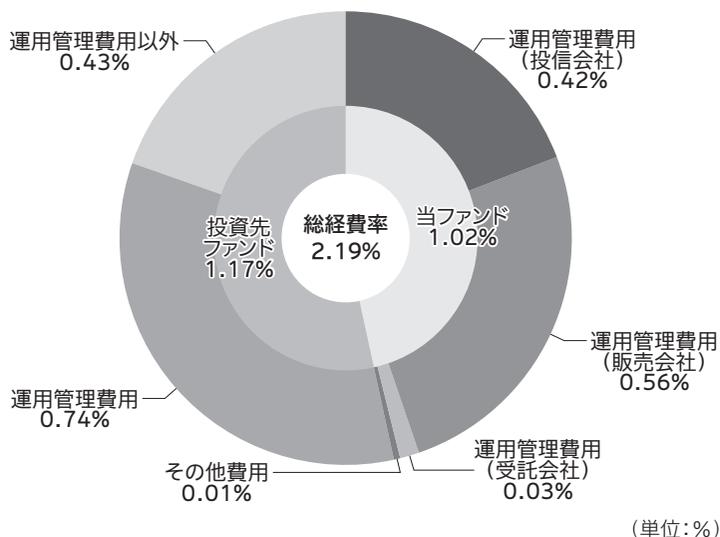
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



総経費率(①+②+③)	2.19
①当ファンドの費用の比率	1.02
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.43

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年2月14日～2024年8月13日)

投資信託証券

銘柄		第149期～第154期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	口	千円	口	千円
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 4 (AC)	2,374,557	480,000	313,312	65,000
	合計	2,374,557	480,000	3,319,631	580,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月14日～2024年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第148期末	第154期末		
		口数	口数	評価額	比率
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	口	口	千円	%
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 4 (AC)	15,009,002	12,002,682	1,917,992	61.8
	合計	3,579,007	5,640,252	1,070,198	34.5
合計		18,588,009	17,642,934	2,988,191	96.3

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第148期末	第154期末	
		口数	口数	評価額
マネープールマザーファンド		千口	千口	千円
		35,012	35,012	34,953

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第154期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年8月13日現在)

項 目	第154期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,988,191	% 94.6
マネーパールマザーファンド	34,953	1.1
コール・ローン等、その他	136,219	4.3
投資信託財産総額	3,159,363	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末
	2024年3月11日現在	2024年4月10日現在	2024年5月10日現在	2024年6月10日現在	2024年7月10日現在	2024年8月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,381,383,659	4,403,340,574	3,952,170,822	3,942,410,776	3,771,256,926	3,159,363,286
コール・ローン等	103,674,654	652,445,610	178,728,135	165,018,898	135,485,924	136,218,501
投資信託受益証券(評価額)	3,192,755,685	3,715,941,591	3,738,489,319	3,742,438,513	3,600,817,645	2,988,191,055
マネーパールマザーファンド(評価額)	34,953,320	34,953,320	34,953,320	34,953,320	34,953,320	34,953,320
未収入金	50,000,000	—	—	—	—	—
未収利息	—	53	48	45	37	410
(B) 負債	50,623,712	530,653,027	61,351,216	66,858,372	56,343,408	55,560,104
未払金	—	480,000,000	—	—	—	—
未払収益分配金	39,758,934	45,471,165	45,261,919	44,883,954	41,750,542	38,260,150
未払解約金	8,268,987	2,314,416	12,798,697	18,562,068	11,428,175	14,082,225
未払信託報酬	2,546,539	2,810,640	3,238,806	3,376,396	3,131,348	3,183,825
その他未払費用	49,252	56,806	51,794	35,954	33,343	33,904
(C) 純資産総額(A-B)	3,330,759,947	3,872,687,547	3,890,819,606	3,875,552,404	3,714,913,518	3,103,803,182
元本	9,939,733,506	11,367,791,376	11,315,479,963	11,220,988,524	10,437,635,642	9,565,037,721
次期繰越損益金	△6,608,973,559	△7,495,103,829	△7,424,660,357	△7,345,436,120	△6,722,722,124	△6,461,234,539
(D) 受益権総口数	9,939,733,506口	11,367,791,376口	11,315,479,963口	11,220,988,524口	10,437,635,642口	9,565,037,721口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,351円	3,407円	3,438円	3,454円	3,559円	3,245円

(注1) 当作成期間(第149期～第154期)における期首元本額10,027,811,581円、期中追加設定元本額1,777,169,807円、期中一部解約元本額2,239,943,667円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第149期0.3351円、第150期0.3407円、第151期0.3438円、第152期0.3454円、第153期0.3559円、第154期0.3245円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第149期6,608,973,559円、第150期7,495,103,829円、第151期7,424,660,357円、第152期7,345,436,120円、第153期6,722,722,124円、第154期6,461,234,539円

○損益の状況

項 目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
	2024年2月14日～ 2024年3月11日	2024年3月12日～ 2024年4月10日	2024年4月11日～ 2024年5月10日	2024年5月11日～ 2024年6月10日	2024年6月11日～ 2024年7月10日	2024年7月11日～ 2024年8月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	55,714,212	54,858,789	61,898,294	61,762,748	57,869,040	52,904,676
受取配当金	55,717,954	54,858,714	61,897,202	61,761,646	57,867,964	52,900,333
受取利息	-	75	1,092	1,102	1,076	4,343
支払利息	△ 3,742	-	-	-	-	-
(B) 有価証券売買損益	△ 45,335,852	42,569,434	22,441,891	3,587,040	96,109,909	△ 312,759,144
売買益	20,578	43,189,288	22,590,858	4,445,372	98,536,770	9,544,623
売買損	△ 45,356,430	△ 619,854	△ 148,967	△ 858,332	△ 2,426,861	△ 322,303,767
(C) 信託報酬等	△ 2,595,791	△ 2,866,343	△ 3,290,600	△ 3,412,350	△ 3,164,691	△ 3,217,729
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,782,569	94,561,880	81,049,585	61,937,438	150,814,258	△ 263,072,197
(E) 前期繰越損益金	△5,157,280,037	△5,128,621,523	△5,029,179,691	△4,930,403,115	△4,549,018,974	△4,053,223,778
(F) 追加信託差損益金	△1,419,717,157	△2,415,573,021	△2,431,268,332	△2,432,086,489	△2,282,766,866	△2,106,678,414
(配当等相当額)	(5,453,845,515)	(6,480,008,567)	(6,458,173,691)	(6,410,594,600)	(5,969,329,775)	(5,474,894,914)
(売買損益相当額)	(△6,873,562,672)	(△8,895,581,588)	(△8,889,442,023)	(△8,842,681,089)	(△8,252,096,641)	(△7,581,573,328)
(G) 計(D+E+F)	△6,569,214,625	△7,449,632,664	△7,379,398,438	△7,300,552,166	△6,680,971,582	△6,422,974,389
(H) 収益分配金	△ 39,758,934	△ 45,471,165	△ 45,261,919	△ 44,883,954	△ 41,750,542	△ 38,260,150
次期繰越損益金(G+H)	△6,608,973,559	△7,495,103,829	△7,424,660,357	△7,345,436,120	△6,722,722,124	△6,461,234,539
追加信託差損益金	△1,419,717,157	△2,415,573,021	△2,431,268,332	△2,432,086,489	△2,282,766,866	△2,106,678,414
(配当等相当額)	(5,453,845,512)	(6,480,008,568)	(6,458,173,691)	(6,410,594,600)	(5,969,329,775)	(5,474,894,914)
(売買損益相当額)	(△6,873,562,669)	(△8,895,581,589)	(△8,889,442,023)	(△8,842,681,089)	(△8,252,096,641)	(△7,581,573,328)
分配準備積立金	1,511,353,110	1,501,611,137	1,501,090,946	1,495,994,118	1,401,043,176	1,291,598,000
繰越損益金	△6,700,609,512	△6,581,141,945	△6,494,482,971	△6,409,343,749	△5,840,998,434	△5,646,154,125

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2024年2月14日～2024年8月13日)は以下の通りです。

項 目	2024年2月14日～ 2024年3月11日	2024年3月12日～ 2024年4月10日	2024年4月11日～ 2024年5月10日	2024年5月11日～ 2024年6月10日	2024年6月11日～ 2024年7月10日	2024年7月11日～ 2024年8月13日
a. 配当等収益(費用控除後)	53,116,758円	53,244,761円	59,483,496円	58,537,930円	56,679,938円	49,687,561円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	5,453,845,512円	6,480,008,568円	6,458,173,691円	6,410,594,600円	5,969,329,775円	5,474,894,914円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	1,497,995,286円	1,493,837,541円	1,486,869,369円	1,482,340,142円	1,386,113,780円	1,280,170,589円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,004,957,556円	8,027,090,870円	8,004,526,556円	7,951,472,672円	7,412,123,493円	6,804,753,064円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,047円	7,061円	7,073円	7,086円	7,101円	7,114円
g. 分配金	39,758,934円	45,471,165円	45,261,919円	44,883,954円	41,750,542円	38,260,150円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○分配金のお知らせ

	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

<分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AMアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス4)	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。	
	アジア・オセアニア	クラス4
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
銀行利息	110,346
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	1,853,713
為替差損益	12
収益合計	1,964,071
費用	
支払利息	△ 10,358
投資運用報酬	△ 244,829
投資運用報酬 払戻料	8,808
管理報酬	△ 14,308
監査報酬	△ 50,033
保管報酬	△ 23,670
受託者報酬	△ 15,002
その他営業費用	△ 39,582
営業費用合計	△ 388,974
税引前・分配前利益 (損失)	1,575,097
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	1,575,097
分配金	△ 7,548,146
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△ 5,973,049

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2023年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
KRUNG THAI BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.4% PERP	タイ	4.400%	永久債	3.8%
GREENKO SOLAR (MAURITIUS) LTD. 5.55% 29-JAN-2025	インド	5.550%	2025/1/29	2.7%
MGM CHINA HOLDINGS LIMITED 4.75% 01-FEB-2027	マカオ	4.750%	2027/2/1	2.5%
CELESTIAL MILES LTD. 5.75% PERP	香港	5.750%	永久債	2.4%
INDIA CLEAN ENERGY HOLDINGS 4.5% 18-APR-2027	インド	4.500%	2027/4/18	2.4%
NETWORK I21 (SINGAPORE) PTE LTD. 5.65% PERP	インド	5.650%	永久債	2.4%
TMBTHANACHART BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.9% PERP	タイ	4.900%	永久債	2.3%
MELCO RESORTS FINANCE LTD. 5.625% 17-JUL-2027	香港	5.625%	2027/7/17	2.3%
CA MAGNUM HOLDINGS 5.375% 31-OCT-2026	インド	5.375%	2026/10/31	2.2%
PT BANK NEGARA INDONESIA (PERSERO) TBK 4.3% PERP	インドネシア	4.300%	永久債	2.1%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジ ア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス4)	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。	
	アジア・オセアニア	クラス4
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	1, 115, 840
為替差損益	△ 7, 944
受取利息	117, 525
その他収益	2, 348
収益合計	1, 227, 769
費用	
投資運用報酬	123, 234
管理報酬	13, 245
監査報酬	14, 083
保管報酬	4, 391
名義書換費用	5, 320
受託者報酬	12, 000
その他営業費用	65, 463
営業費用合計	237, 736
営業利益	990, 033
分配金	△3, 935, 111
税引前・分配後損失	△2, 945, 078
税金	—
税引後・分配後損失	△2, 945, 078
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△2, 945, 078

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2023年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	6.5%
SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	6.2%
RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	4.7%
YANLORD LAND HK CO LTD 6.8% DUE 27/02/2024	中国	6.800%	2024/2/27	3.8%
SMC GLOBAL POWER HDGS 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	3.5%
DAH SING BANK LTD 5% DUE 15/01/2029	香港	5.000%	2029/1/15	3.3%
WOORI BANK 4.75% DUE 30/04/2024	韓国	4.750%	2024/4/30	3.3%
VLL INTERNATIONAL INC 7.25% DUE 20/07/2027	フィリピン	7.250%	2027/7/20	3.2%
MIRAE ASSET SECURITIES 1.375% DUE 07/07/2024	韓国	1.375%	2024/7/7	3.2%
SHANGHAI COMMERCIAL BANK 6.375% DUE 28/02/2033	香港	6.375%	2033/2/28	3.0%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2024年8月13日）

＜計算期間 2023年8月11日～2024年8月13日＞

マネープールマザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率			
9期(2020年8月11日)	円 10,019		% △0.1		% —	百万円 182
10期(2021年8月10日)	10,011		△0.1		—	133
11期(2022年8月10日)	10,001		△0.1		—	87
12期(2023年8月10日)	9,990		△0.1		—	88
13期(2024年8月13日)	9,983		△0.1		55.1	72

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率
				騰 落	率			
	(期 首)		円		%			%
	2023年	8月10日	9,990		—			—
	8月末		9,989		△0.0			—
	9月末		9,988		△0.0			—
	10月末		9,987		△0.0			—
	11月末		9,986		△0.0			—
	12月末		9,985		△0.1			—
	2024年	1月末	9,984		△0.1			—
	2月末		9,984		△0.1			—
	3月末		9,983		△0.1			14.8
	4月末		9,983		△0.1			59.2
	5月末		9,983		△0.1			59.2
	6月末		9,983		△0.1			55.2
	7月末		9,983		△0.1			55.1
	(期 末)							
	2024年	8月13日	9,983		△0.1			55.1

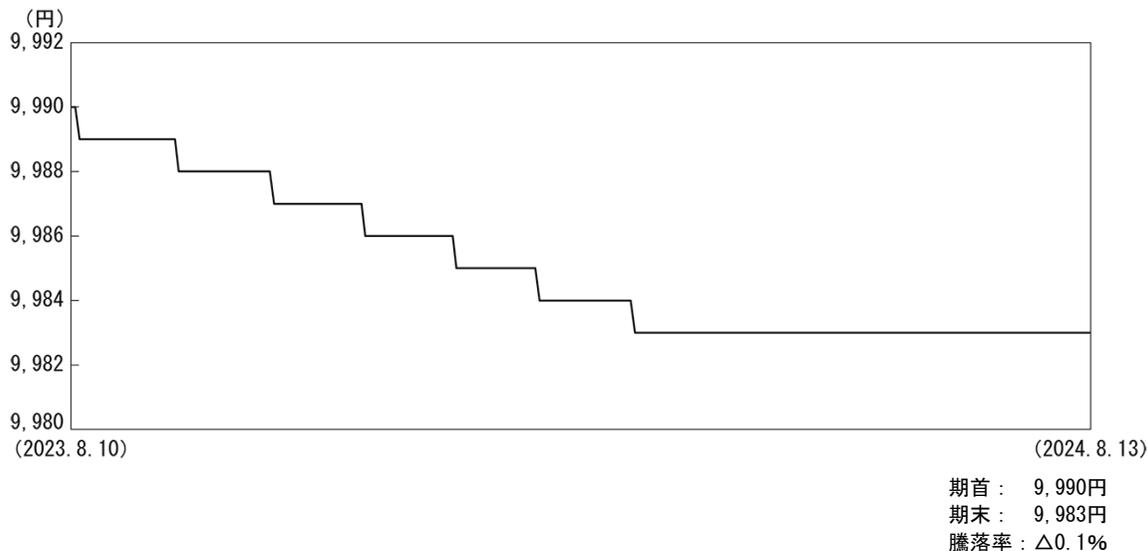
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2023年8月11日～2024年8月13日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

2024年3月まで短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

■投資環境

2024年3月までは日銀のマイナス金利政策が継続したことから、無担保コールレート（オーバーナイト物）は、概ね-0.1%～0.0%の範囲で推移しました。

マイナス金利解除後は、概ね0.05%～0.15%の範囲で推移しましたが、7月に政策金利が上げられた後は、概ね0.20%～0.25%の範囲で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

2024年3月までは短期金融市場において国債の利回りがマイナスであったため、比較的マイナス幅が小さいコール・ローン運用を中心に行いました。4月以降は、コール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間1年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年8月11日～2024年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 5 (5)	% 0.053 (0.053)	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	5	0.053	
期中の平均基準価額は9,984円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2023年8月11日～2024年8月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 79,997	千円 — (40,000)

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還等による増減分です。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月11日～2024年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月13日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 40,000 (40,000)	千円 39,997 (39,997)	% 55.1 (55.1)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 55.1 (55.1)
合 計	40,000 (40,000)	39,997 (39,997)	55.1 (55.1)	— (—)	— (—)	— (—)	55.1 (55.1)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) ()内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第1176回国庫短期証券	—	20,000	19,999	2024/8/20	
第1237回国庫短期証券	—	20,000	19,998	2024/9/17	
合 計		40,000	39,997		

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年8月13日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 39,997	% 55.1	千円 39,997	% 55.1
コール・ローン等、その他	32,528	44.9	32,528	44.9
投資信託財産総額	72,525	100.0	72,525	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	72,525,358
コール・ローン等	32,527,742
公社債(評価額)	39,997,520
未収利息	96
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	72,525,358
元本	72,646,896
次期繰越損益金	△ 121,538
(D) 受益権総口数	72,646,896口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,983円

(注1) 信託財産に係る期首元本額88,693,161円、期中追加設定元本額5,038,555円、期中一部解約元本額21,084,820円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドアジア通貨コース	35,012,842円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド高金利通貨コース	17,120,507円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンドブラジルリアルコース	18,306,650円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド日本円コース	1,546,123円
りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド米ドルコース	660,774円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 0.9983円

(注4) 期末における元本の欠損金額 121,538円

○損益の状況 (2023年8月11日～2024年8月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 11,273
受取利息	2,423
支払利息	△ 13,696
(B) 有価証券売買損益	180
売買益	2,020
売買損	△ 1,840
(C) 保管費用等	△ 39,299
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 50,392
(E) 前期繰越損益金	△ 91,782
(F) 追加信託差損益金	△ 8,555
(G) 解約差損益金	29,191
(H) 計(D+E+F+G)	△121,538
次期繰越損益金(H)	△121,538

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。